

# 藤沢市防災組織連絡協議会について ～ 報告 ～

**藤沢市防災組織連絡協議会**

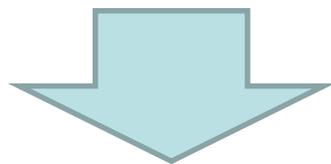
**会 長 椎 野 幸 一**

**(御所見地区防災組織連絡協議会 会長)**

# 藤沢市防災組織連絡協議会報告とお願い

## — 目的 —

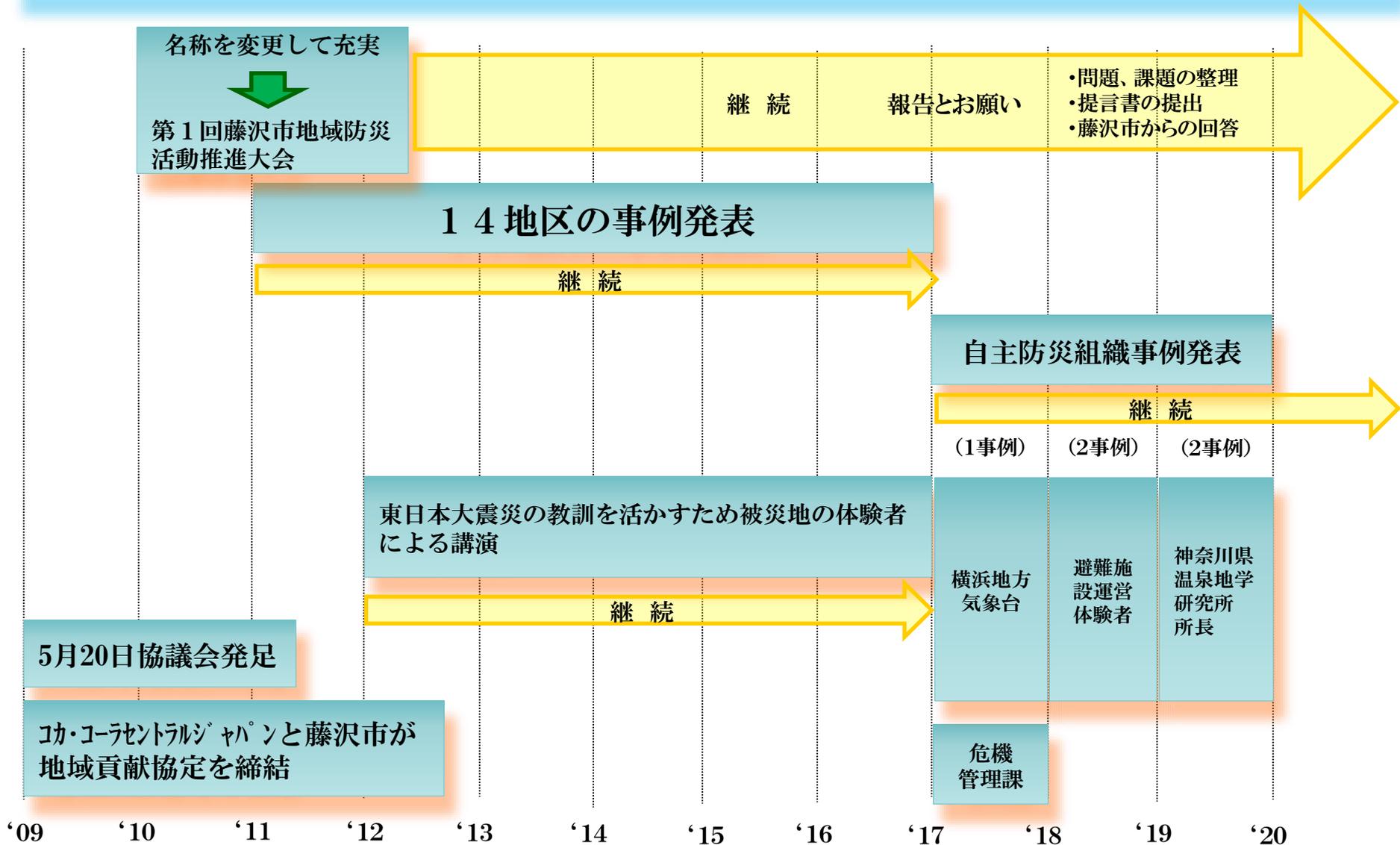
- (1) 防災意識の啓発に関すること
- (2) 各地区防災協議会の情報交換に関すること
- (3) 事業を通じて抽出された課題について検討を行い、藤沢市に提言すること
- (4) その他、本会の目的達成に必要と認めること



**先進事例を各自主防災に活かす**



# 1. 藤沢市防災組織連絡協議会の歩み



## 2. 藤沢市と連携した活動

### ▼防災活動の推進

- 地区総合防災訓練の実施
- 水防訓練、総合防災訓練等、市への協力

### ▼津波避難訓練への参加

- 片瀬・鵜沼・辻堂地区の参加協力

### ▼避難行動要支援者対策

- 自治会・町内会へのアンケート実施
- 令和元年度計画の周知
- 実践活動の推進

### ▼危機管理課によるアンケート調査 (自主防災の実態)

- アンケート回収協力
- アンケートの活かし方の提言

### ▼地域福祉計画の啓発活動

- 地域福祉計画委員会への参加
- 地域福祉計画実践活動推進

### 3. 自主防災活動における課題改善に向けた取り組み



鈴木市長へ提言書を提出（2018.6.7）

## 柱1 自主防災活動の活性化

### 自主防災組織が取り組むこと

- ①講話や懇談会の実施
- ②講演会・事例発表会、推進大会等への参加者の積極的な呼びかけ
- ③マンションの住民説明会等を利用した自治会加入促進
- ④自主防災組織と中学校が連携した、ジュニア防災リーダー教育の実施

### 平成30年度の活動結果

- ①地域団体と連携した防災講演会の実施
- ②自治会・町内会への加入促進・地区防災だよりの発行
- ③地区総合防災訓練の実施・・・など

### 残された問題・課題

- ①地区総合防災訓練への参加者の減少及び訓練内容のマンネリ化
- ②一人ひとりの防災意識の啓発
- ③小規模の自治会・町内会の活動が不活発



片瀬中学校合同防災学習会  
(片瀬地区)

## 柱2 避難行動要支援者対策の充実

### 自主防災組織が取り組むこと

- ①名簿の管理方法・活用方法等ルールづくり
- ②要支援者等の避難行動・避難誘導訓練等の実施
- ③先進事例の紹介
- ④安否確認訓練・アンケート調査を実施することによるPDCAサイクルの循環

### 平成30年度の活動結果

- ①要支援者(障がい者・高齢者)を対象とした避難誘導訓練の実施
- ②障がい者等が参加しやすい環境づくり
- ③自治会・町内会、自主防災組織と民生委員児童委員との意見交換

### 残された問題・課題

- ①各地区における安否確認訓練の実施
- ②(津波)避難誘導訓練向上傾向
- ③要支援者との顔の見える関係づくりの構築
- ④自治会・町内会未加入者への対応



避難誘導訓練(御所見地区)

## 柱3 避難施設運営の確立

### 自主防災組織が取り組むこと

- ①地区防災拠点本部(市民センター・公民館)と連携した開設訓練・運営訓練の実施
- ②訓練結果を踏まえた各施設に則したマニュアルの作成

### 平成30年度の活動結果

- ①6地区が積極的な訓練を実施。
- ②避難者受付訓練, HUG訓練, 図上訓練等の実施
- ③地区総合防災訓練において避難施設運営訓練を実施
- ④女性目線を重視した講演会の実施

### 残された問題・課題

- ①全避難施設での避難施設開設・運営訓練の実施
- ②各避難施設における運営マニュアルの作成
- ③危機管理課が改訂したマニュアルの活用
- ④避難施設開設初動時の態勢確立



女性の視点で考える  
防災講演会(長後地区)

## 柱4 各地区防災拠点本部の役割

### 自主防災組織が取り組むこと

自主防災組織と地区防災拠点本部が連携した訓練の実施

### 平成30年度の活動結果

- ①地区防災拠点本部会議への参加
- ②避難施設運営委員会等におけるHUGの実施

### 残された問題・課題

地区防災拠点本部の役割(水害避難所, 福祉避難所(一次)等)の明確化及び強化



合同防災図上訓練  
(湘南大庭地区)

## 柱5 災害救援ボランティア受入体制の確立

### 自主防災組織が取り組むこと

- ①地区拠点本部及びボランティアコーディネーターと連携したサテライトセンターの開設・運営訓練の実施
- ②ボランティア受入訓練の実施

### 平成30年度の活動結果

地区総合防災訓練においてFSV（藤沢災害救援ボランティアネットワーク）のPRを実施

### 残された問題・課題

- ①市とボランティアセンターの連携
- ②サテライトセンターの役割認識



ボランティアコーディネーターと連携した地区訓練（村岡地区）

# 4. 地域福祉計画の推進

## 基本目標

1 地域に関心を持ち、  
行動できる人材づくり

2 お互いが見守り、支えあ  
い、つながる地域づくり

3 誰もが安心して  
暮らせるしくみづくり

## 1 4地区が取り組んだ主な内容（平成30年度～令和元年度）

- ①防災に関する研修会（講演会）の実施、視察研修会の開催
- ②地区総合防災訓練において避難行動要支援者のブースを設置、地区社協と連携した防災に関する課題の抽出
- ③地区内共通の活動計画（報告）書の作成、実績報告書の作成、防災に関する機関紙の発行

## 残された問題・課題

- ①地域福祉計画の取り組みに関する市民への周知
- ②避難行動要支援者の支援体制づくりの充実
- ③地区内における活動計画（報告）書の共有
- ④活動が不活発な自主防災組織の活性化

## 2020年の取り組み（案）

- ①要支援者一人ひとりに対する情報提供方法の工夫
- ②地区活動団体との連携強化
- ③自主防災組織との顔の見える関係づくり
- ④防災組織連絡協議会における情報交換の質の向上

# 5. 次年度（令和2年度）へ向けて

## P（計画）

- 各地区防災協を主導に、昨年度の実施結果を踏まえ、地区の状況に応じた実施計画を作成。
- 地区単位で取り組むべき事項を検討。
- 自主防災組織が取り組むべき事項を検討。

## D（実施）

- 実施したことは、活動報告書にまとめる。
- できることから始める。

## C（評価）

- 実施結果について話し合う。
- よかった点・反省点等をまとめる。

## A（改善）

- 改善のポイントをまとめる。
- 問題点・課題点を明確にする。



提出日 2018年7月9日

地区名 御所見地区

自主防災組織の活動における課題改善に向けた提言書に係る、  
実績報告書。

取り組んだ項目 自主防災活動の活性化

報告項目	
実施日時	2018年(平成30年)6月16日
実施場所	遠藤市民センター
主催者	藤沢市(御所見・遠藤市民センター・危機管理課・北消防署)、 御所見地区防災組織連絡協議、遠藤地区自主防災協議会
参加主体	御所見・遠藤地区に在住、在勤、在学の中学生以上の方
連携した団体等	
実施内容	AEDの取扱い、心肺蘇生法、三角巾の使い方、防災講話、 炊き出し訓練、消火器操作訓練、ロープワーク、質疑応答、 修了式
実施結果	災害に対する最低限の知識と技術を備えるため、平常時の対策 を実施することで参加者の防災意識が高まった。 遠藤地区と合同で実施することで、地区間の交流が生まれ、「見 る・聞く・話す」といった機会となり、回を重ねる毎に参加者 が増えている。  訓練参加者：53名 (うち御所見地区28名/遠藤地区25名)

写真等



開業式



AEDの取扱い



炊き出し訓練

提出日 2018年11月19日

地区名 御所見地区

自主防災組織の活動における課題改善に向けた提言書に係る、  
実績報告書。

取り組んだ項目 避難行動要支援者対策の充実

報告項目	御所見地区総合防災訓練
実施日時	2018年(平成30年)11月10日
実施場所	御所見市民センター
主催者	御所見地区防災組織連絡協議会・御所見地区防災拠点本部
参加主体	御所見地区自主防災組織、地域住民、地区防災拠点本部従事職 員、避難施設運営委員会、その他関係機関・協力団体
連携した団体等	福祉団体連絡会
実施内容	地区総合防災訓練において、訓練会場到手話通訳者を1名配置 した。また、福祉団体連絡会の受付を設置することで、障害の ある人たちが防災訓練に参加しやすい環境づくりを図った。
実施結果	福祉団体連絡会の受付を設置することで、福祉団体連絡会の会 員5名のほか、8名の受付があり、福祉団体連絡会のPRにも つながった。また、手話通訳は好評であったが、聴覚障がい者 が複数いたこともあり、2名配置して欲しいとの要望があった。 今後も福祉団体連絡会との連携を深め、いざという時の備えを 充実させるとともに、障がい者の不安解消を図っていく。

写真等



手話通訳と福祉団体連絡会受付

# まとめ

- \* 「備え」は、空振りでもいいから訓練等を継続しましょう。
- \* 自分の備え、地域の備えをみんなでやりましょう。
- \* 各地区の防災協議会と自主防災組織の連携をより強化していきましょう。



# 終わりに

「防災もまちづくり」の意識を強く持ち、藤沢市に住んでよかった、住み続けたいを目標に、さらなる防災活動に繋げて行きましょう。



An aerial photograph of a coastal city, likely Yokohama, Japan. The city is densely packed with buildings and infrastructure, extending along a curved coastline. In the foreground, a large harbor area is visible with numerous piers and docks. The sea is a deep blue, and the sky is clear. In the far distance, the iconic snow-capped peak of Mount Fuji rises against a clear blue sky. The overall scene is bright and clear, suggesting a sunny day.

ご清聴ありがとうございました。